

中小企業景況調査報告書

2025年10～12月期実績

2026年1～3月期予測

この調査は、商工会の経営改善普及事業の指導資料にするため、国・道の指定事業として、全国商工会連合会を中心に昭和54年から全国一斉に実施しているものである。

調査要領と、北海道分の調査対象20商工会の回答企業数は、次のとおりである。

1. 調査要領

(1) 調査対象時期等

- ①調査対象時期：2025年10～12月期の実績及び2026年1～3月期見通し
 ②調査期間：2025年11月4日～11月19日 ※調査時点は2025年11月15日

(2) 調査方法

- ①商工会の経営指導員等による訪問面接調査
 ②調査対象企業の抽出は、業種・規模等の有意抽出法による。

(3) 調査対象商工会

- ①人口～9,999人 せたな、ニセコ町、積丹町、北竜町、南富良野町、遠別
 枝幸町、安平町、鹿追町、弟子屈町
 ②人口10,000～29,999人 七飯町、えんがる、湧別町、新ひだか町、別海町
 ③人口30,000人～(市に含まれる) 石狩北、北斗市、いわみざわ、あさひかわ、音更町

(4) 回答企業数

業種	調査企業数	回答企業数	回答率	業種	調査企業数	回答企業数	回答率
製造業	48	47	97.9%	小売業	86	85	98.8%
建設業	51	51	100.0%	サービス業	115	107	93.0%
				合 計	300	290	96.7%

※設備投資の設問については、未回答の企業があるので回答企業数とは一致しない業種があります。

(5) D I = ディファージョン・インデックス(景気動向指数)とは？

前年同期と比べて、「増加(上昇・好転)」-「減少(低下・悪化)」の回答企業の比率。

例えば、売上高が前年同期比で「増加」回答企業50%、「不变」回答企業30%、「減少」回答企業20%の場合、D I は $50-20=+30$ となり、売上高の面では「増加(上昇・好転)」気運であることを表わす。

2. 全業種の業況(前年同期比、前期比の推移) ※D I 値のみ

業種	前年同期比		前 期 比					
	今期	来期見込	R6.10-12	R7.1-3	R7.4-6	R7.7-9	今期	来期見込
製造業	▲ 10.6	▲ 19.1	▲ 27.3	▲ 40.5	▲ 26.6	▲ 24.4	▲ 10.7	▲ 25.5
建設業	▲ 9.8	▲ 20.0	▲ 15.6	▲ 25.0	▲ 8.0	0.0	▲ 5.9	▲ 35.3
小売業	▲ 35.7	▲ 36.9	▲ 29.1	▲ 41.0	▲ 16.9	▲ 13.0	▲ 28.2	▲ 28.2
サービス業	▲ 19.7	▲ 24.3	▲ 20.5	▲ 33.3	▲ 23.6	▲ 18.3	▲ 21.7	▲ 22.4

3. 北海道内商工会地域の状況

製造業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R7.1~3	R7.4~6	R7.7~9	今期	来期見込
業況	好転	8.5	6.4	0.0	6.7	6.7	10.6	4.3
	不変	72.4	68.1	59.5	60.0	62.2	68.1	65.9
	悪化	19.1	25.5	40.5	33.3	31.1	21.3	29.8
	D・I	▲10.6	▲19.1	▲40.5	▲26.6	▲24.4	▲10.7	▲25.5
売上(加工)額	増加	31.9	12.8	7.1	37.8	22.2	31.9	
	不変	44.7	55.3	35.8	33.3	46.7	40.4	
	減少	23.4	31.9	57.1	28.9	31.1	27.7	
	D・I	8.5	▲19.1	▲50.0	8.9	▲8.9	4.2	
資金繰り	好転	2.2	0.0	2.4	2.3	0.0	6.5	
	不変	84.8	82.6	80.5	81.8	79.5	80.5	
	悪化	13.0	17.4	17.1	15.9	20.5	13.0	
	D・I	▲10.8	▲17.4	▲14.7	▲13.6	▲20.5	▲6.5	
原材料 仕入単価	上昇	69.6	69.6					
	不変	30.4	28.2					
	低下	0.0	2.2					
	D・I	69.6	67.4					
採算(経常利益)	好転	10.6	6.4					
	不変	68.1	59.6					
	悪化	21.3	34.0					
	D・I	▲10.7	▲27.6					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

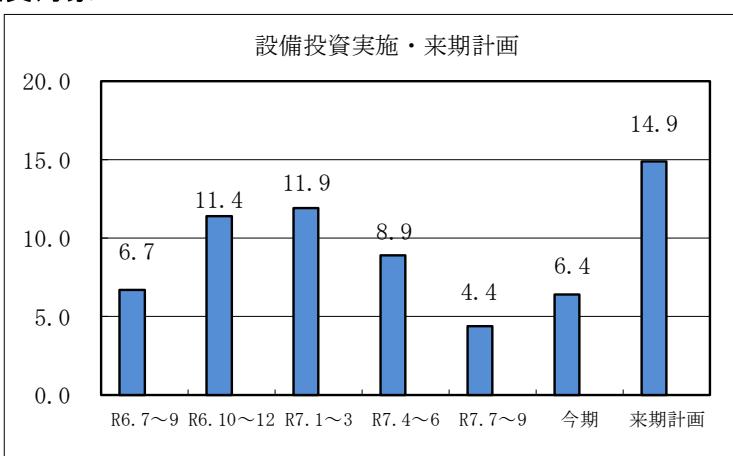
回答47事業所の内、3事業所(6.4%)が実施。

●生産設備=3事業所、●付帯施設=1事業所

【来期計画内容】

回答47事業所の内、来期に7事業所(14.9%)が計画。

●生産設備=6事業所、●車両・運搬具、付帯施設、OA機器=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点(1位回答の多い順。同率の場合は1~3位回答合計による)

1位は前回同様1位だった「原材料価格の上昇」で、8.2ポイント減少している。2位は、同率で「製品ニーズの変化」と「生産設備の不足・老朽化」で、「製品ニーズの変化」は4.6ポイント増加し、「生産設備の不足・老朽化」は2.1ポイント増加している。4位は、前回2位だった、「需要の停滞」で、5.3ポイント減少している。5位は、前回同様「原材料の不足」であり、2.3ポイント増加している。



建設業		主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）						
項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R7.1~3	R7.4~6	R7.7~9	今期	来期見込
業況	好転	7.8	2.0	0.0	8.0	16.0	7.8	2.0
	不変	74.6	76.0	75.0	76.0	68.0	78.5	60.7
	悪化	17.6	22.0	25.0	16.0	16.0	13.7	37.3
	D・I	▲9.8	▲20.0	▲25.0	▲8.0	0.0	▲5.9	▲35.3
完成工事(請負工事)額	増加	19.6	5.9	8.3	28.0	34.0	25.5	
	不変	41.2	58.8	58.4	44.0	46.0	29.4	
	減少	39.2	35.3	33.3	28.0	20.0	45.1	
	D・I	▲19.6	▲29.4	▲25.0	0.0	14.0	▲19.6	
資金繰り	好転	5.9	6.0	0.0	4.0	10.2	7.8	
	不変	80.4	78.0	85.1	76.0	81.6	76.5	
	悪化	13.7	16.0	14.9	20.0	8.2	15.7	
	D・I	▲7.8	▲10.0	▲14.9	▲16.0	2.0	▲7.9	
材料仕入単価	上昇	70.0	58.0					
	不変	30.0	38.0					
	低下	0.0	4.0					
	D・I	70.0	54.0					
採算(経常利益)	好転	7.8	3.9					
	不変	62.8	64.7					
	悪化	29.4	31.4					
	D・I	▲21.6	▲27.5					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

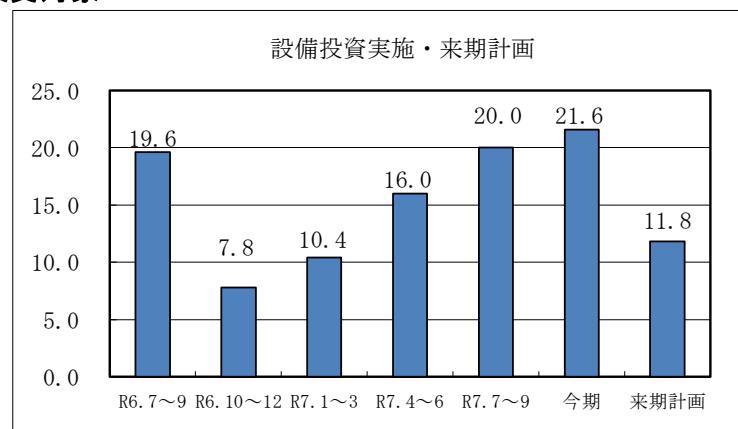
回答51事業所の内、11事業所(21.6%)が実施。

- 車両・運搬具=6事業者
- 建設機械=5事業所、●OA機器=2事業所、●土地=1事業者

【来期計画内容】

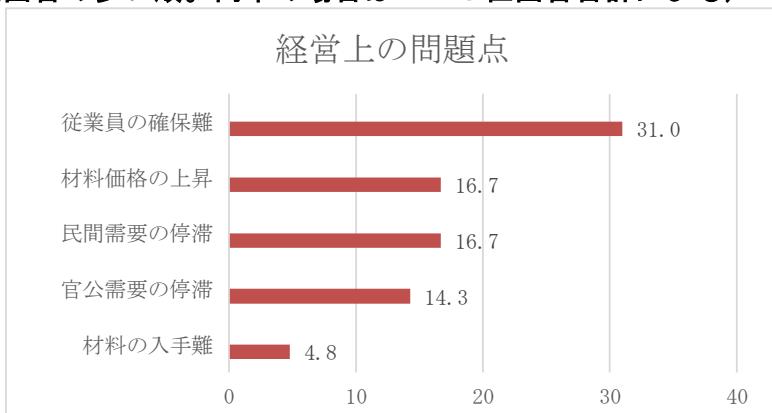
回答51事業所の内、来期は6事業所(11.8%)が計画。

- 建設機械=3事業者、●建物、車両・運搬具、付帯施設、その他=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点(1位回答の多い順。同率の場合は1~3位回答合計による)

1位は前回同様「従業員の確保難」で2.8ポイント増加した。2位は同率で「材料価格の上昇」と「民間需要の停滞」で、「材料価格の上昇」は8.9ポイント減少し、「民間需要の停滞」は1.3ポイント増加した。4位は前回5位だった、「官公需要の停滞」で、6.6ポイント増加した。5位は前回番外の「材料の入手難」で、4.8ポイント増加した。



小売業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R7.1~3	R7.4~6	R7.7~9	今期	来期見込
業況	好転	3.6	2.4	3.6	9.6	9.4	5.9	7.1
	不変	57.1	58.3	51.8	63.9	68.2	60.0	57.6
	悪化	39.3	39.3	44.6	26.5	22.4	34.1	35.3
	D・I	▲35.7	▲36.9	▲41.0	▲16.9	▲13.0	▲28.2	▲28.2
売上額	増加	15.3	9.4	16.9	27.1	29.1	18.8	
	不変	45.9	54.1	37.3	34.1	44.2	36.5	
	減少	38.8	36.5	45.8	38.8	26.7	44.7	
	D・I	▲23.5	▲27.1	▲28.9	▲11.7	2.4	▲25.9	
資金繰り	好転	2.4	3.5	3.7	4.7	4.7	1.2	
	不変	69.4	67.1	65.8	75.3	77.7	68.2	
	悪化	28.2	29.4	30.5	20.0	17.6	30.6	
	D・I	▲25.8	▲25.9	▲26.8	▲15.3	▲12.9	▲29.4	
商品 仕入単価	上昇	58.8	49.4					
	不変	37.7	45.9					
	低下	3.5	4.7					
	D・I	55.3	44.7					
採算(経常利益)	好転	5.9	6.0					
	不変	54.1	57.1					
	悪化	40.0	36.9					
	D・I	▲34.1	▲30.9					

○設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

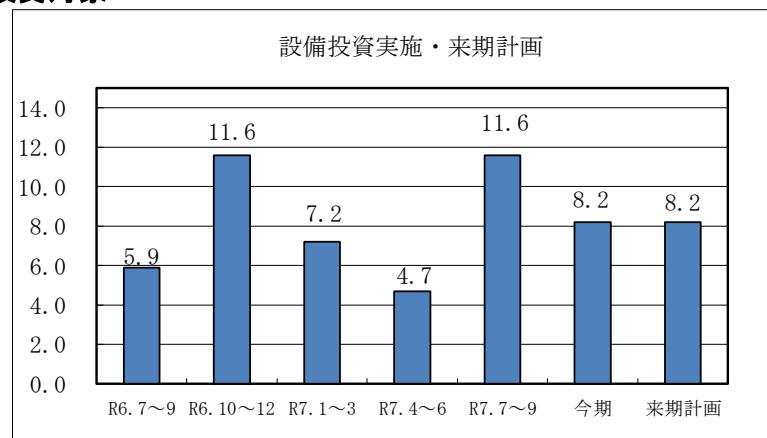
回答85事業所の内7事業所(8.2%)が実施。

●販売設備=4事業所、●OA機器=2事業所、●その他=1事業所

【来期計画内容】

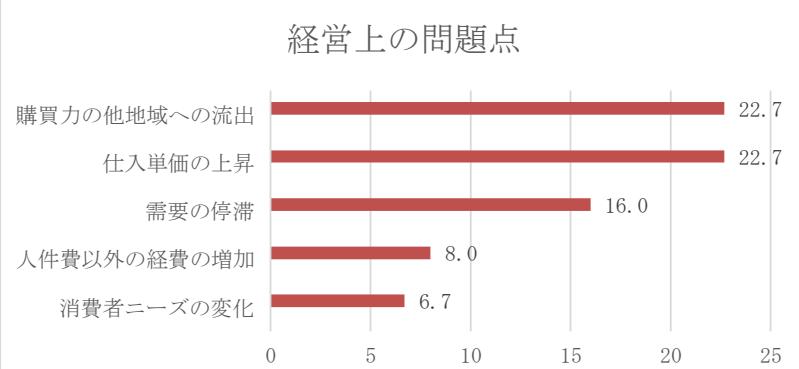
回答85事業所の内、来期は7事業所(8.2%)が計画。

●販売設備=3事業所、●車両・運搬具、OA機器=各2事業所、●付帯施設=1事業者



○今期の経営上の問題点(1位回答の多い順。同率の場合は1~3位回答合計による)

1位は同率で、「購買力の他地域への流出」と「仕入単価の上昇」で「購買力の他地域への流出」は、1.6ポイント増加し、「仕入単価の上昇」は、5.8ポイント増加した。3位は、前回4位だった「需要の停滞」で、3.7ポイント減少した。4位は前回番外の「人件費以外の経費の増加」で、0.5ポイント減少した。5位は、前回番外の「消費者ニーズの変化」で、1.1ポイント増加した。



サービス業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R7.1~3	R7.4~6	R7.7~9	今期	来期見込
業況	好 転	6.5	2.8	4.9	6.6	4.8	6.6	5.6
	不 変	67.3	70.1	56.9	63.2	72.1	65.1	66.4
	悪 化	26.2	27.1	38.2	30.2	23.1	28.3	28.0
	D・I	▲ 19.7	▲ 24.3	▲ 33.3	▲ 23.6	▲ 18.3	▲ 21.7	▲ 22.4
売上(収入)額	増 加	20.6	9.3	8.8	24.3	28.6	18.7	
	不 変	55.1	66.4	50.0	39.3	52.4	51.4	
	減 少	24.3	24.3	41.2	36.4	19.0	29.9	
	D・I	▲ 3.7	▲ 15.0	▲ 32.4	▲ 12.1	9.6	▲ 11.2	
資金繰り	好 転	4.8	1.9	2.0	3.8	5.0	4.8	
	不 変	74.2	74.3	70.0	75.0	76.2	73.3	
	悪 化	21.0	23.8	28.0	21.2	18.8	21.9	
	D・I	▲ 16.2	▲ 21.9	▲ 26.0	▲ 17.4	▲ 13.8	▲ 17.1	
仕入単価(材料等)	上 昇	61.9	52.4					
	不 変	36.2	42.8					
	低 下	1.9	4.8					
	D・I	60.0	47.6					
採算(経常利益)	好 転	7.5	2.8					
	不 変	57.0	62.6					
	悪 化	35.5	34.6					
	D・I	▲ 28.0	▲ 31.8					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

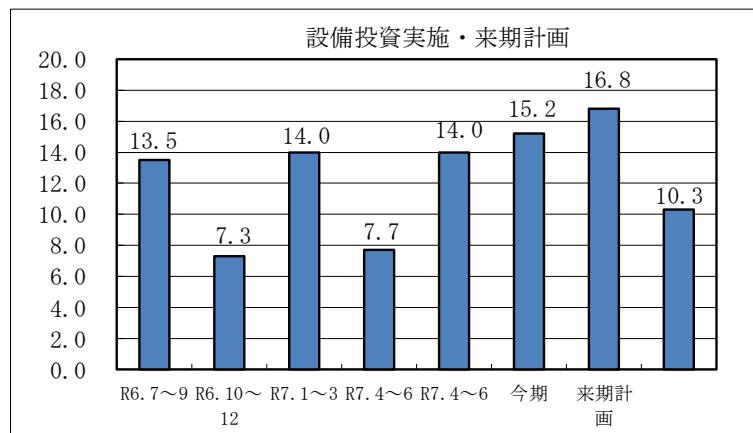
回答107事業所の内、18事業所(16.8%)が実施。

●サービス=5事業者、●土地=4事業所、●建物、車両・運搬具、OA機器=各3事業所、●付帯施設=2事業所、●その他=1事業所

【来期計画内容】

回答107事業所の内、11事業所(10.3%)が計画。

●OA機器=5事業者、●建物、付帯施設=各3事業者、●サービス、車両・運搬具=各2事業者、●土地=1事業者



○ 今期の経営上の問題点(1位回答の多い順。同率の場合は1~3位回答合計による)

1位は前回2位だった「材料等仕入単価の上昇」で4.8ポイント増加した。2位は前回3位だった「需要の停滞」で3.1ポイント減少した。3位は同率で「利用者ニーズの変化」と「店舗施設の狭隘・老朽化」で、「利用者ニーズの変化」は、8.9ポイント減少し、「店舗施設の狭隘・老朽化」で0.6ポイント減少した。5位は前回番外だった「人件費以外の経費の増加」で4.3ポイント増加している。



4. 全国と対比した主要景況項目の動向 -前年同期比D I-

【各調査時期における前年同期比の「増加(上昇・好転)」回答企業比率 - 「減少(低下・悪化)」回答企業比率】

製造業

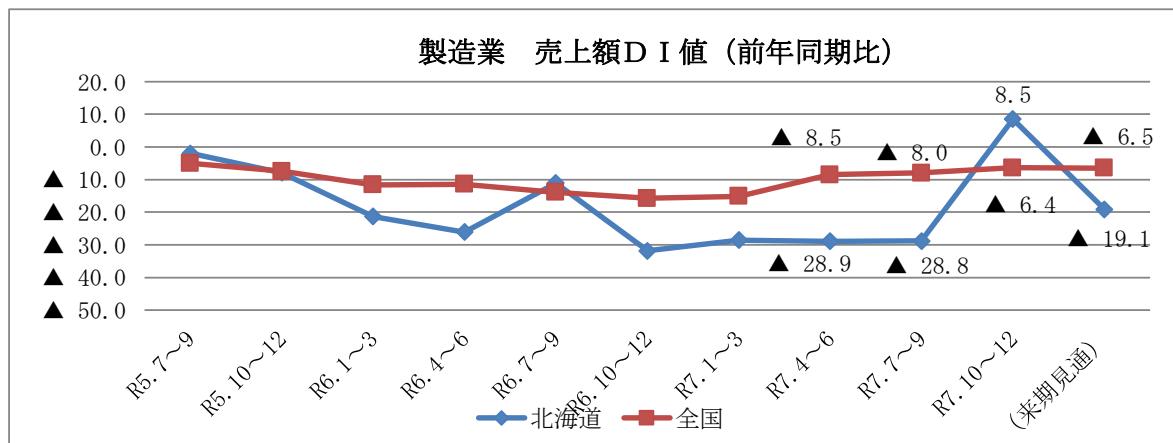
【北海道】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

(見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

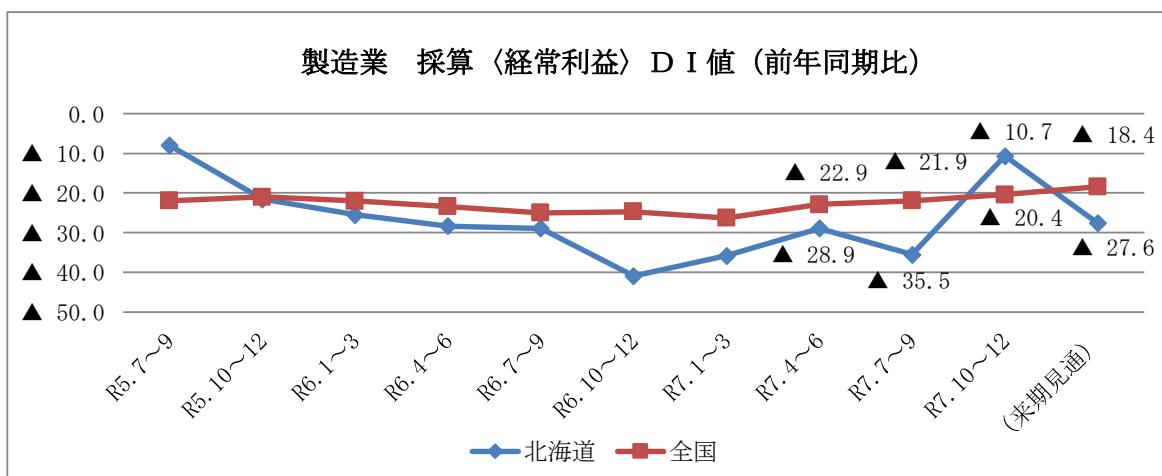
【全 国】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

(見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

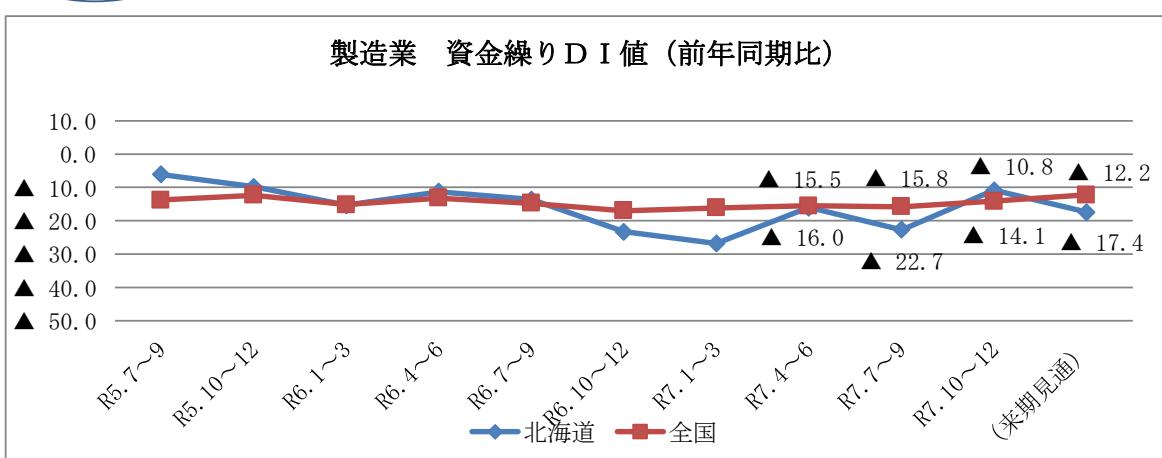
売上額



採 算



資金繰り



建設業

【北海道】(今期)完成工事額▲DI値…変化なし、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

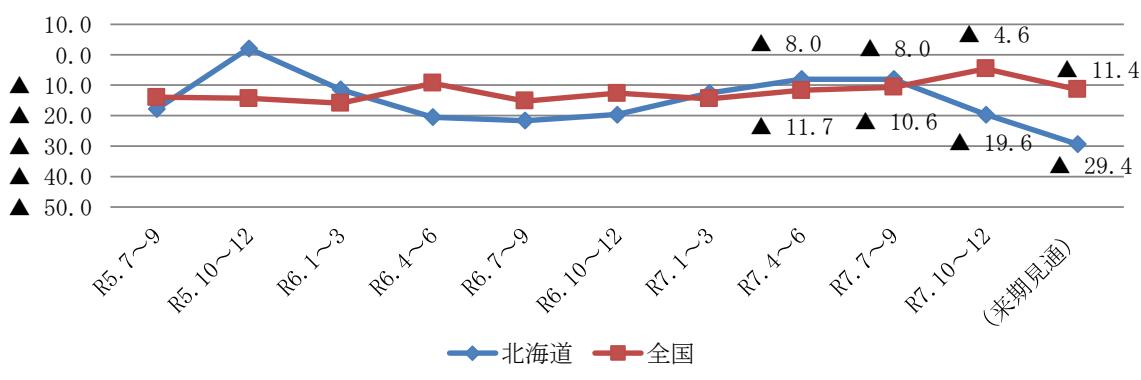
(見込)完成工事額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…上昇

【全 国】(今期)完成工事額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

(見込)完成工事額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

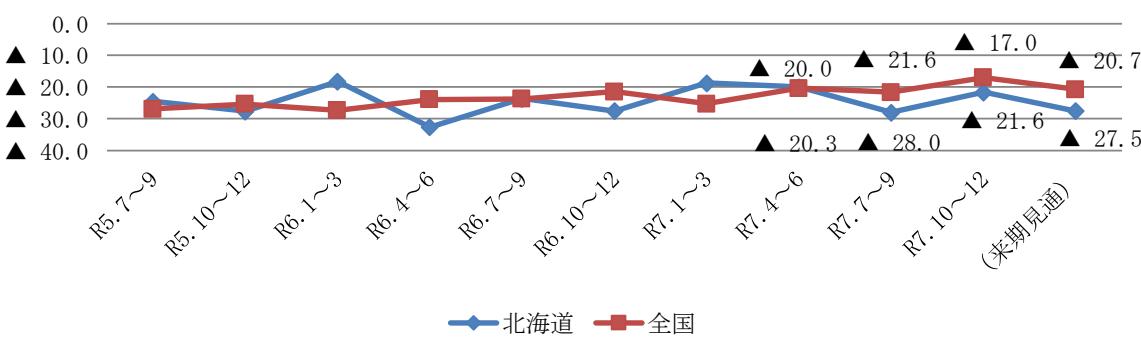
完成工事額

建設業 完成工事額 D I 値 (前年同期比)



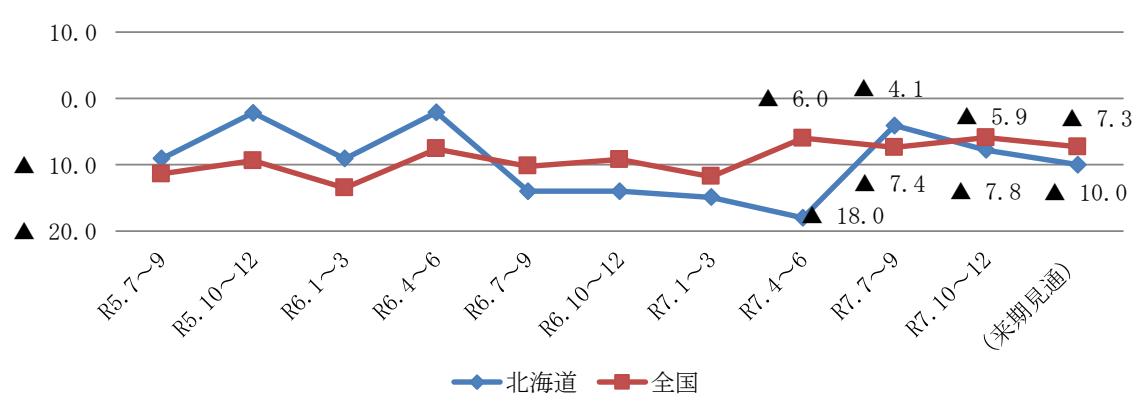
採 算

建設業 採算〈経常利益〉 D I 値 (前年同期比)



資金繰り

建設業 資金繰り D I 値 (前年同期比)

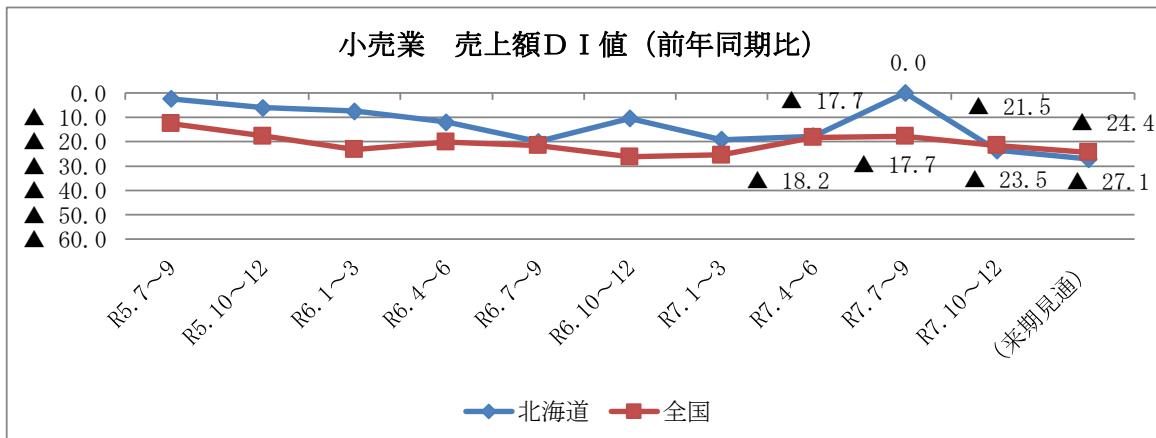


小売業

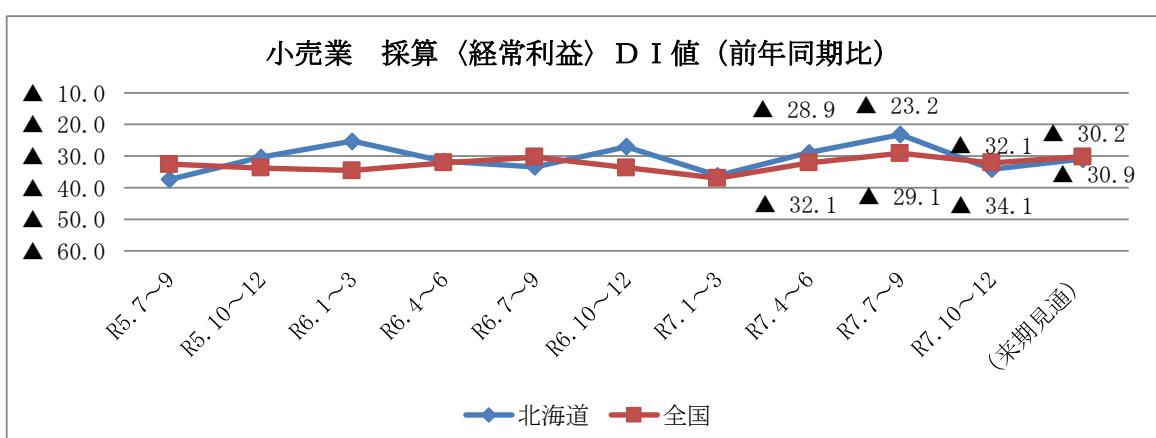
【北海道】(今期) 売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
 (見込) 売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

【全 国】(今期) 売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 (見込) 売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

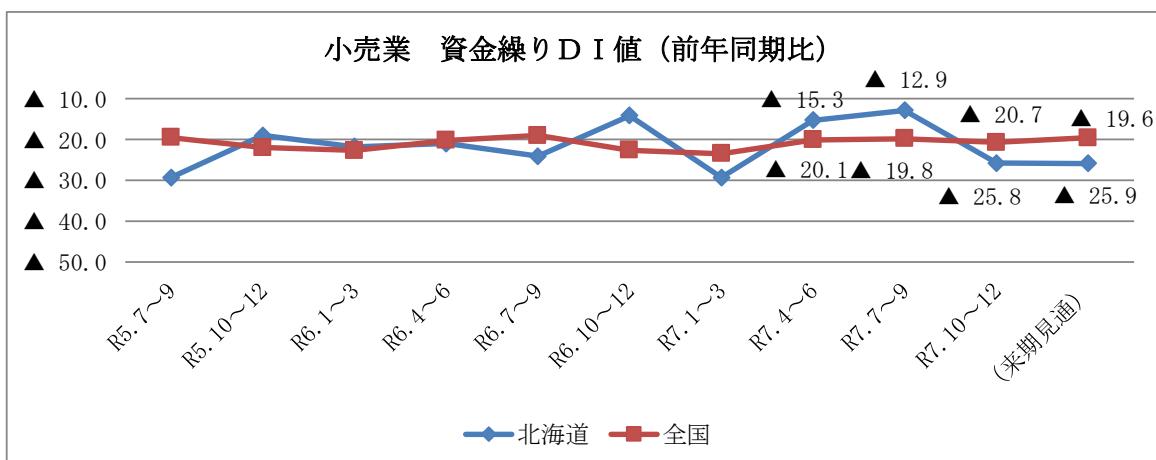
売上額



採 算



資金繰り

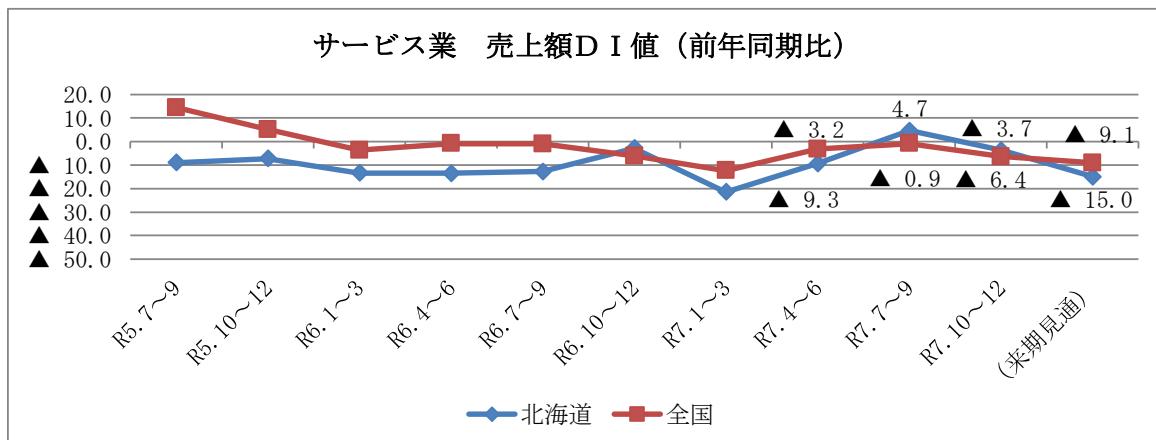


サービス業

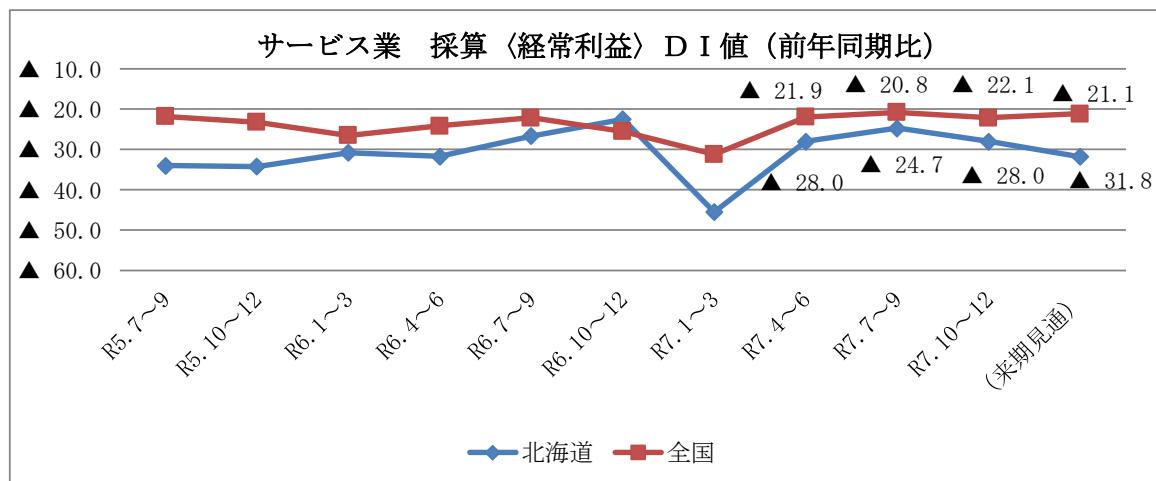
【北海道】(今期) 売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
 (見込) 売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

【全 国】(今期) 売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 (見込) 売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

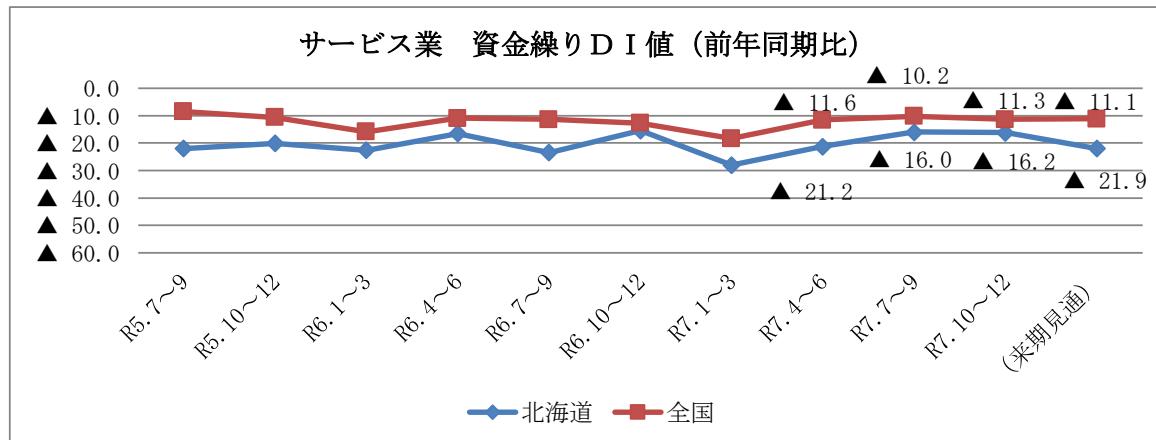
売上額



採 算



資金繰り



5. 自社の業況判断の背景について感じている事(調査対象企業の声)

業種	内容
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ○何と言っても人材不足です。中間管理職の教育不足のため危機意識が無い。 ○原材料価格の上昇があまりにも高すぎる。それを商品に転嫁できない。また生産設備の老朽化やその他の必要経費も増加している。 ○従業員の高齢化による今後の経営問題があります。また、後継者がおらず経営を継続することが困難な状況です。 ○不漁による材料確保難。年明け以降は対応が必要になりそう。年越し用に関する問い合わせが例年より少なく感じる。 ○定期ではない仕事はあるものの外注に頼らざるえない経営なので利益率は低い。設備の老朽化もあり経営の維持が厳しい。 ○今年は昆布も豊富にあり、一定量を確保できたが、現段階で来年の昆布はほぼ見られず、原材料不足が懸念される。 ○物価高と人件費の上昇、資材の値上がりにより利幅が狭くなった。
建設業	<ul style="list-style-type: none"> ○売上は低調であるが、適正価格により粗利益率は確保できている。忙しい月もあれば、暇になる月が極端で見通しが立たない部分がある。 ○民需の割合が大半ながら、今期は予定事業案件に着手出来ました。来期以降は事業案件が確立されておらず、今期程の完工高等を確保できるか不明です。また、官需のおかげで売上高等も安定しつつある点は有難いです。 ○人口が減っているので求人してもなかなか応募が無い。 ○建設業において、官公・民間を含めた需要の伸び悩みに加えて、従業員確保が非常に困難になっている。 ○後継者問題に取り組まなければいけない時期を迎えている。 ○従業員の確保

小売業	<ul style="list-style-type: none"> ○前期は特に観光客や新規のお客様の来店の減少を感じていたが、万博の影響だったのか終了後からお客様の流れが例年通りに戻った気がする。 ○人口減少のため新聞購読者がいなくなるため、売上が減少する。これから先が不安に感じる。 ○定番商品に加え、クリスマスや年末年始の商品も昨年に比べ仕入・販売価格が上昇している。消費者の節約志向が強まる中、売上高を伸ばす為の品選びや価格の設定の判断が難しい。 ○飲食店や他業種の出店が多いが、全国大手チェーンが多く、最低時給よりも高い金額でパート等の募集を行っているケースが多く、人材確保が難しくなっている。 ○固定客の減少（死亡・施設入居等）が多くなった。自分と妻の高齢化により学生服の販売を一部やめたので、売上額が大きく減少しました ○DXによる業務の変化に対応できるのか不安。
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ○経営者及び配偶者が高齢のため、体調を悪くすると営業日数が減り売上減少となる。 ○仕入材料の上昇を商品単価に適切に反映できていない。客離れを考えると人件費の上昇も人数を減らして対応している。 ○どんどん仕入が高くなっている。値上げすると客は来ない。 ○売上的に1・2月単月の売上が年間合計の3割近くを占めている状況。また、冬期売上の利益率が夏期に比して圧倒的なため、回答は楽観的に行ってますが、実際は1・2月からの冬期の売上次第です。 ○食材の値上がりが止まらない（肉・米・調味料）、値上げをするか迷っている。宴会の数は例年より減少する見込み。 ○資金繰りは相変わらず困難である。仕入原価削減のため、購入先も比較的安価なところを選ぶよう工夫はしている。新規参入業者も増えているため、売上につながるよう努力を続けたい。